

面積:606.2平方キロ

人口:2,746,388人(2020年国勢調査,全米第3位)
(白人31.4%,黒人28.7%,ヒスパニック29.9%,アジア6.9%)
(2020年国勢調査)

設立:1837年3月4日 愛称:Windy City

シカゴ市概要



令和5年7月現在
在シカゴ総領事館

政治

【シカゴ市概観】

1. 市長:ブランドン・ジョンソン(Brandon Johnson)(民)
2023年5月15日就任

2. 議会構成:
議席数 50 (各議員は党派を名乗れないが、事実上民主党47,独立系3)

【政治】

イリノイ州は広大な農業地帯では共和党支持が根強い中、シカゴ市とその近郊では民主党が圧倒的で、民主党は30年代以来シカゴ市長を独占。

2011年にシカゴ初のユダヤ系市長となったエマニュエル市長(元オバマ大統領首席補佐官)は、2021年12月に連邦上院から駐日米国大使指名を承認され、2022年1月に着任。

2021年3月、シカゴ市郊外エバンストン市において、同市議会はアフリカ系米国人に対する過去の差別的住居政策に対し米国初の政府賠償プログラムを承認。2023年から本プログラムに基づく住宅支援計画が実施された。

2023年2月の第一回投票で現職ライトフット市長が決選投票に進めず、4月の決選投票において、プログレッシブ派の元教員のジョンソン(Brandon Johnson)クック郡評議会委員がヴァラス(Paul Valas)候補との接戦を制し、2023年5月15日に市長に就任した。悪化した治安状況改善、市の財政立て直し等の課題に取り組んでいる。

2024年大統領選挙前の重要行事である民主党大会が2024年8月19-22日にシカゴで開催される予定。

経済

【経済規模,特徴等】

・シカゴ市は人口約270万人。周辺地域も含めた都市圏は人口約951万人(2021年)。
・都市圏の総生産額:7,646億ドル(2021年),イリノイ州全体(9,457億ドル,2021年)の約81%
・都市圏の一人当たり所得:71,992ドル(2021年)
・都市圏の失業率:3.2%(2023年5月)
・金融,法律・会計サービス,製造業,運輸,食品,医療関連企業等が集積。

・市内には,全米売上高トップ500社のうちユニテッド航空,モトローラ(通信),マクドナルド(フードサービス)などの本社が所在(2023年)。

・先物の中心地,CME(シカゴ・マーカンタイル取引所)の金融先物(金利,外国為替,株価指数等)・商品先物(農産物等)は,世界の相場動向に影響力。ユニコーン企業((時価総額10億ドル超の未公開企業)23社が所在するなどベンチャーキャピタル投資が盛ん(2022年)。

・大陸の東西を結ぶ鉄道など陸運網の結節点。また,オヘア空港(乗客数世界第4位,離発着数全米第2位(それぞれ2021年))は,航空物流の拠点。

【観光】

・市内訪問客数:3,070万人(内訳:国内旅行者約3,018万人/国外旅行者約52万人)(2021年)。国内旅行者の96%がレジャー目的。市内観光産業は約10万人の雇用を支えている。

【貿易】

・主要輸入品目:電子電算機器,化学製品,石油・ガス,一般機械
・主要輸出品目:化学製品,電子電算機器,一般機械,輸送用機器,その他製造品 (注:米商務省国際貿易局データ)

【対日経済】

・日系企業事業所数:68事業所,1,934人を雇用(シカゴ市内/2022年)(イリノイ州全体では,663事業所,そのうち製造業が約6割)。

・イリノイ州の対日輸出額は約24億ドル(全体の3%)で,カナダ(238億ドル,30.4%),メキシコ(115億ドル,14.7%),オーストラリア(46億ドル,5.8%),ドイツ(43億ドル,5.5%),中国(40億ドル,5.2%),ブラジルに続き第7位(2022年)。

日本との関係

【要人往来】

(往)18年7月,エマニュエル市長が訪日。
(来)04年9月,河野衆議院議長。05年9月末~10月初,常陸宮同妃両殿下が中南米ご訪問の途次に御来訪。10年6月,前原国土交通大臣。12年5月,玄葉外務大臣。17年7月,武井外務政務官。18年5月,蓮浦総理補佐官及び岡本外務政務官。18年6月,吉村大阪市長。
22年6月,中村農水副大臣。22年9月,山本群馬県知事及び三日月滋賀県知事。

【文化,広報関係】

シカゴ日米協会が活発に活動(1930年創設)。
1893年のシカゴ万博の日本パビリオン「鳳凰殿」跡地は日本庭園(ジャクソン・パーク内「フェニックス・ガーデン」となっており,大阪門やオノ・ヨーコ製作のモニュメントがある)。

2011年10月,シカゴマラソンと大阪マラソンが提携。
2012年の日米桜寄贈100周年記念事業では,イリノイ州グレンコー村にあるシカゴ植物園内の日本庭園に20本の苗木を植樹。

2013年~2016年,草の根団体「プロジェクト120」が「鳳凰殿」建設120年,シカゴ日本商工会議所が創設50周年をそれぞれ記念して,計120本を越える桜をジャクソン・パークに寄贈。

2018年には国土交通省の「海外日本庭園再生プロジェクト」の下で「フェニックス・ガーデン」の改修計画を策定(2019年に一部改修実施)。

2018年6月,シカゴ市ミシガン通りと大阪市御堂筋通りが姉妹通り提携。米国三大美術館の一つであるシカゴ美術館には約12,000点の浮世絵のコレクションあり。

【在留邦人数(2022年10月1日現在)】

シカゴ市:2,703人,シカゴ近郊(シカゴ市及び日本企業・学校等の多いシャンバーグ,アーリントンハイツ,ホフマンエステイツ,パラタイン,エルクグローブビレッジ,バッファローグローブを含む):8,230人 (参考:イリノイ州全体 15,354人)

【日本人学校・補習校数】

双葉会:全日校1校,補習校1校 (シカゴ近郊のアーリントンハイツに所在)(イリノイ州全体では計3校)

【姉妹都市関係】

大阪市(大阪府)—シカゴ(1973年11月提携)
2023年は大阪-シカゴ姉妹都市提携50周年。